

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月7日

上場会社名 株式会社エーアイ 上場取引所 東
 コード番号 4388 URL <https://www.ai-j.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 吉田 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理グループ統括 (氏名) 前田 忠臣 TEL 03 (6801) 8402
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	508	3.8	132	0.1	132	10.0	115	25.4
2019年3月期第3四半期	489	19.0	132	28.8	120	15.6	91	22.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	22.74	22.42
2019年3月期第3四半期	19.04	18.14

(注) 当社は、2018年6月27日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2019年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2019年3月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,055	988	93.7
2019年3月期	1,211	1,103	91.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 988百万円 2019年3月期 1,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期の期末配当金8円00銭には、記念配当3円00銭が含まれております。

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800	8.5	220	4.2	220	8.8	160	6.5	32.84

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	5,123,000株	2019年3月期	5,036,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	120,028株	2019年3月期	28株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	5,072,154株	2019年3月期3Q	4,831,346株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動による影響が一部で見られましたが、ラグビーの世界カップが日本で開催されるなど、個人消費が景気を下支えしました。また、世界経済は、海外情勢などに対する懸念もある一方、持ち直しへの期待が高まりつつあります。

当社が属する音声合成市場におきましては、電話自動応答システム、カーナビ、防災行政無線、スマートフォン音声対話などの利用用途から、AI（人工知能）の品質向上によるPepperをはじめとしたコミュニケーションロボット、コールセンターのオペレータ業務の自動化、車載器への対話システムなどの対話型利用用途へと変化しております。また、東京オリンピック、観光客の増加に伴う外国人への情報提供手段としての利用用途も見込まれており、堅調に推移しております。

音声合成市場には、多くのサービス事業、アプリケーションが投入され、競争が激化しており、より品質の高い技術を投入するために研究開発費、製品開発費が増加する傾向にあります。当社では今後更なる成長機会と捉えて、「音声技術の応用サービス化を通して、音声技術の新しい文化を創出し、生活文化の向上に貢献すること」に引き続き注力してまいります。

このような事業環境の中で、当第3四半期累計期間の音声合成事業は、法人向けサービスが順調に推移した結果、売上高508,270千円（前年同期比3.8%増）、営業利益132,914千円（同0.1%増）、経常利益132,493千円（同10.0%増）、四半期純利益115,356千円（同25.4%増）となりました。

なお、当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、特性に応じた3つの区分につきましては、法人向け製品販売274,106千円（前年同期比6.5%増）、法人向けサービス収入170,751千円（同13.0%増）、コンシューマー向け製品販売63,412千円（同21.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は前事業年度末と比較して156,832千円減少し、1,055,145千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少113,347千円、売掛金の減少50,795千円によるものです。

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して42,161千円減少し、66,233千円となりました。これは主に、賞与引当金が5,551千円増加したものの、未払法人税等が24,564千円、流動負債「その他」に含まれる未払金が10,061千円、未払費用が3,963千円、預り金が8,140千円減少したことによるものです。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して114,671千円減少し、988,912千円となりました。これは、自己株式が199,680千円増加したこと、及び、四半期純利益の計上により利益剰余金が115,356千円増加、配当金の支払いにより利益剰余金が40,287千円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月14日公表の「2019年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	970,110	856,763
売掛金	130,749	79,954
仕掛品	1,118	5,863
原材料及び貯蔵品	647	1,084
その他	12,830	16,714
流動資産合計	1,115,456	960,380
固定資産		
有形固定資産	13,040	15,640
無形固定資産		
ソフトウェア	15,885	10,314
無形固定資産合計	15,885	10,314
投資その他の資産	67,595	68,810
固定資産合計	96,521	94,765
資産合計	1,211,977	1,055,145
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,717	3,587
リース債務	790	815
未払法人税等	35,969	11,405
前受収益	10,390	10,057
賞与引当金	-	5,551
その他	55,027	32,931
流動負債合計	105,894	64,348
固定負債		
リース債務	2,499	1,885
固定負債合計	2,499	1,885
負債合計	108,394	66,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,601	148,571
資本剰余金	198,255	203,225
利益剰余金	761,809	836,877
自己株式	△82	△199,762
株主資本合計	1,103,583	988,912
純資産合計	1,103,583	988,912
負債純資産合計	1,211,977	1,055,145

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	489,481	508,270
売上原価	97,214	94,652
売上総利益	392,267	413,617
販売費及び一般管理費	259,462	280,703
営業利益	132,804	132,914
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	5
講演料収入	131	66
営業外収益合計	136	71
営業外費用		
支払利息	117	93
為替差損	43	-
自己株式取得費用	-	399
株式交付費	2,922	-
株式公開費用	9,385	-
営業外費用合計	12,468	492
経常利益	120,472	132,493
特別利益		
投資有価証券売却益	-	15,399
特別利益合計	-	15,399
特別損失		
固定資産除却損	-	354
特別損失合計	-	354
税引前四半期純利益	120,472	147,538
法人税、住民税及び事業税	27,652	33,333
法人税等調整額	846	△1,151
法人税等合計	28,498	32,182
四半期純利益	91,974	115,356

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年11月18日開催の取締役会決議に基づき、自己株式120,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が199,680千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が199,762千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。